

平成 25 年度全国学力・学習状況調査における山口市の結果概要について

1 調査の概要

(1) 目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

(2) 調査期日 平成 25 年 4 月 24 日 (水)

(3) 調査対象 すべての小学校第 6 学年児童
すべての中学校第 3 学年生徒

(4) 調査の内容

① 教科に関する調査 (国語、算数・数学)

- ・主として「知識」に関する問題
- ・主として「活用」に関する問題

- ・国語 A、算数・数学 A : 主として「知識」に関する問題を中心とした出題
- ・国語 B、算数・数学 B : 主として「活用」に関する問題を中心とした出題

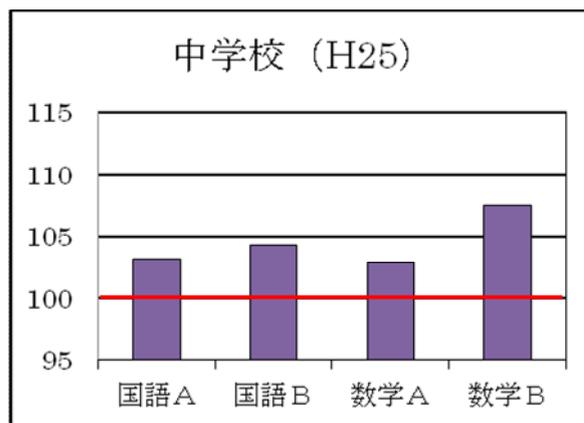
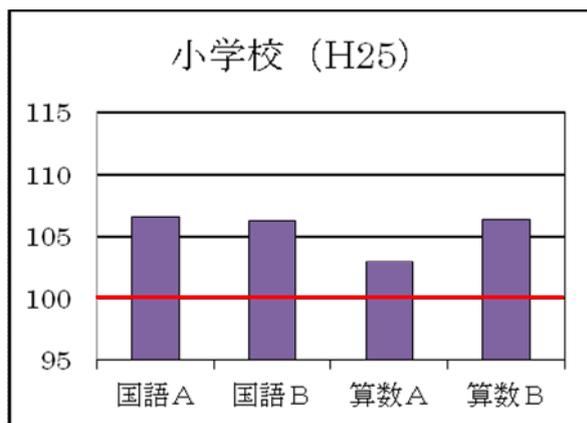
② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- ア 児童生徒に対する調査
- イ 学校に対する調査

2 教科に関する結果

本市と全国の各教科平均正答率との比較

- ・全国の平均正答率を100として、各教科における本市の結果をグラフで表しています。



- 小学校・中学校ともに、全ての教科において全国平均正答率を上回る結果となっています。
- 小学校では特に国語A（主として「知識」に関する問題）、国語B、算数B（主として「活用」に関する問題）、中学校では特に数学B（主として「活用」に関する問題）において、全国平均正答率を5ポイント以上上回る結果となっています。

出題された問題の内容～成果と課題～

- ・各教科の調査問題* において、「正答率が高かった問題（○）」「課題の見られる問題（▲）」についてまとめています。
Aは主として「知識」に関する問題、Bは主として「活用」に関する問題です。

※調査問題の詳細は、国立教育政策研究所の「平成25年度全国学力・学習状況調査の調査問題について」(<http://www.nier.go.jp/13chousa/13mondai.htm>) で閲覧することができます。

(1) 小学校

【国語A】

○漢字を正しく読むこと

(乗り物の券を買う)

▲文と文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くこと (右図参照)

正答は、
「そうにしていた。(だから) ぼくは、これま」です。
分ける部分を間違った解答や「終わりの七文字」に「ので、」を残したまま記述した解答がありました。

【国語B】

○相手の立場や状況を感じ取って聞くこと

▲目的や意図に応じ、複数の内容を関係付けながら自分の考えを具体的に書くこと (下図参照)

【編集会議での町田さんと山下さんの意見】

町田さん 「4 まとめ」には、題名「打ち上げ花火の伝統」に合う内容を書いたほうがいいと思うわ。書き出しの文(「打ち上げ花火は、一伝統といえます。」)は、「歴史」に注目し、「1 打ち上げ花火の歴史」の内容をまとめているわね。

山下さん それに続く内容は、「現在」の打ち上げ花火に注目し、「2 打ち上げ花火の種類」と「3 花火師の小野さんの声」の「イ つくり出す伝統」の中に書かれている。現在における打ち上げ花火の形や色、打ち上げるときにくふうを取り上げて書いたほうがいいね。そして、最後に考えたことをまとめて書いてらうのかな。

打ち上げ花火は、およそ400年もの歴史をもった、日本のすばらしい伝統といえます。

※上の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※◆の印から書きましょう。どちらかで行を変えないで、続けて書きましょう。

【文章の一部】

放送委員会の役員を決める話し合いをした。ぼくは、委員長を任せられることになった。新しく委員になった五年生は、放送機器の使い方が分からなくて不安そうにしていたので、ぼくは、これまでの経験を生かして、いろいろなことを教えてあげたいと思った。

二 【文章の一部】の中の——部を、主語に注目して二つの内容に分けて書き直します。つなぎ言葉には、「だから」を使います。

(1) 一つ目の文の終わりの七文字と、二つ目の文の「だから、」に続く七文字を書き直しましょう。なお、読点(、)も字数にふくみます。

三 今村さんたちは、「4 まとめ」の意見を受け、書き出しの文に続く内容を考えました。おどの条件に合わせて書き直しましょう。

C いろいろな条件に合わせてまとめる力が求められます。ここでは山下さんの提案から、「型物の花火の開発が進んでいること」を取り上げた上で、「中間色を使ったカラフルな花火が作られていること」、「音楽に合わせて打ち上げられていること」の両方、あるいはいずれかを組み合わせる必要があります。

【算数A】

○曲線部分の長さを測定する際に用いる適切な計器を理解していること

5 次の問題に答えましょう。

(1) 木のまわりの長さを測るとき、下の **1** から **4** までの中からどれを使えばよいですか。1つ選んで、その番号を書きましょう。

1 ものさし
2 コンパス
3 三角定規
4 巻き尺



誤答として、全体の5人に1人は、人数を単位数として、一人当たりの面積を求めていました。

▲単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解していること

4 AとBの2つのシートがあります。

A
6 m²

B
5 m²

下の表は、シートの上に乗っている人数とシートの面積を表しています。

	人数(人)	面積(m ²)
A	12	6
B	8	5

どちらのシートのほうがこんでいるかを調べるために、下の計算をしました。

A $12 \div 6 = 2$
 B $8 \div 5 = 1.6$

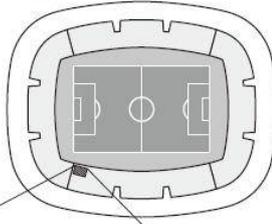
上の計算からどのようなことがわかりますか。次の **1** から **4** までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

1 1 m²あたりの人数は2人と1.6人なので、Aのほうがこんでいる。
2 1 m²あたりの人数は2人と1.6人なので、Bのほうがこんでいる。
3 1人あたりの面積は2 m²と1.6 m²なので、Aのほうがこんでいる。
4 1人あたりの面積は2 m²と1.6 m²なので、Bのほうがこんでいる。

【算数B】

○示された情報から二つの要素の意味を解釈し、ものの位置を特定すること

(2) サッカーに興味を持ったひろきさんは、試合をみに行きました。ひろきさんは **2列4番** の席を探しています。下の図の●の席は **5列10番** でした。**2列4番** はどの席ですか。解答用紙のあてはまる席に○をかきましょう。



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1										
2				○						
3										
4										
5										●

▲表から数値を適切に取り出して、二つの数量の関係が比例の関係ではないことを記述すること

(3) 実験3では、おもりの重さを40gにもとし、ふりこの長さを変えて10往復する時間を調べ、下の表にまとめました。

ふりこの長さ (cm)	25	50	75	100
10往復する時間 (秒)	10	14	17	20

この結果から、次のことがわかります。

ふりこの長さを2倍に変えたとき、10往復する時間は2倍になっていないので、ふりこの長さど10往復する時間は比例していません。

「ふりこの長さを2倍に変えたとき、10往復する時間は2倍になっていない」ことを、上の表の中の数と言葉を使って書きましょう。

「ふりこの長さが25cmから50cmと2倍に変わったとき、10往復する時間は10秒から14秒で2倍になっていないからです。」
 具体的な数値が示されていないため、正解とらなかった児童が多く見られました。

(2) 中学校

【国語A】

○漢字の楷書と行書との違いを理解して書くこと（右図参照）

- ▲語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと
（今年の夏の暑さには閉口した）

【国語B】

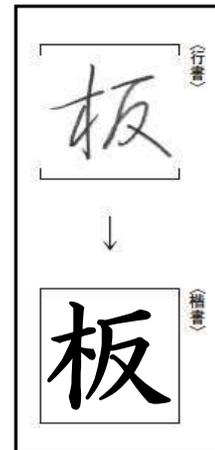
○文章の展開に即して内容を捉えること
（星新一「装置の時代」の文章より）

- ▲文章の構成や表現の特徴を捉えること
（新聞記事を見て：右図参照）

誤答としては、全体の約5分の1の生徒が「4」を選びました。一般の新聞記事の特徴について答えるのではなく、問題文に示された【新聞記事】の内容について答えなければいけません。

一 【新聞記事】の書き方の特徴を説明したものととして最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- ① 始めに要点をまとめて述べた上で、具体的な数値を取り上げて詳しく書いている。
- 2 始めに書き手の意見を述べた上で、複数の見方を取り上げて多面的に書いている。
- 3 問題の解決方法を見出しで示した上で、グラフを用いて分かりやすく書いている。
- 4 最新の情報を見出しで示した上で、出来事の流れを時間の経過に沿って書いている。



【数学A】

○正の数と負の数の計算をすること

(2) $5 \times (4 - 7)$ を計算しなさい。

正答：-15

- ▲関数の意味を理解していること

関数としては、「一方の値を決めれば、他方の値がただ1つ決まる」関係を選ばなくてはなりません。

- 9 下のアからオまでの中に、 y が x の関数であるものがあります。正しいものを1つ選びなさい。
- ア 生徒数が x 人の学校の校庭の面積 y m²
 - イ 底面積が x cm²の直方体の体積 y cm³
 - ウ 身長が x cmの人の体重 y kg
 - エ 自然数 x の倍数 y
 - オ 整数 x の絶対値 y

【数学B】

○与えられた表から情報を適切に選択し、処理すること

▲事象を理想化・単純化して、事柄を数学的に捉え、他の事象との関係を考えること

③ 太一さんは、水を熱したときの水温の変化を調べました。そして、水を熱した時間と水温について下の表のようにまとめ、 x 分後の水温を y ℃として、グラフに表しました。

調べた結果

水を熱した時間と水温	
熱した時間 x (分)	0 2 4 6 8 10
水温 y (℃)	20.0 28.2 36.1 44.2 52.0 60.0

(1) 水温は、熱し始めてから10分間で何℃上がりましたか。10分間で上がった温度を求めなさい。

(3) (2)では、水を熱し始めてから x 分後の水温 y ℃について調べました。そこでは、2つの数量 x 、 y の値の組を調べ、それらの関係を表す点がグラフ上で一直線上にあると考えました。これと同じように考えて求められるものが、下のアからエまでの中にあります。正しいものを1つ選びなさい。

ア 標高と気温
何℃?

求めるもの
富士山のふもとにある河口湖観測所(標高860m)の気温が23.3℃のときの富士山6合目(標高2500m)の気温

知られていること
ある地点の気温 y ℃は、地上から1万mぐらまでは、高さ x mが高くなるのにもなって、100mごとに約0.6℃下がる。

イ 速さと時間
何分?

求めるもの
家から2100m離れた図書館まで分速70mで移動するときにかかる時間

知られていること
ある道のりを分速 x mで y 分間移動するとき、 x と y の積は一定である。

ウ 重さと料金
何円?

求めるもの
送りたい郵便物の重さが90gのときの料金

知られていること
重さ x gの定形郵便物の料金 y 円は、50gまでが120円、100gまでが140円のように、重さによって決められている。

エ 時刻と気温
何℃?

求めるもの
日の出の気温が10℃だった日の15時の気温

知られていること
晴れの日、日の出から x 時間後の気温 y ℃は、日の出から14時ごろまでは上がり続け、その後翌日の日の出までは下がり続ける。

誤答として「イ」を選んだ生徒が最も多く、このことから「速さ」と「時間」、「移動距離」の関係性を十分に整理して理解することが大切です。

○国語では、漢字読んだり書いたりすることや、ことわざの意味を理解することなど、「言語に関する基礎的・基本的な力」を見る問題に高い正答率が見られました。算数・数学では、「基礎的な計算力」を見る問題において、高い正答率が見られました。

▲小学校の国語において、解答時間が「やや足りなかった」または「全く足りなかった」と回答した児童の割合が多く、それらの児童の正答率は低くなっています。

また国語では、「目的や意図に応じて自分の考えを書く力」、算数・数学では「複数の数量や事象を関係を捉える力」を見る問題において、課題がありました。今後、より一層の向上を図っていく必要があります。

3 生活習慣や学習環境等の結果

・質問に対して「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」という肯定的な回答を全国と比較し、本市の小・中学生の「望ましい状況（○）」と「課題の見られる状況（▲）」をまとめています。

- 「朝食を毎日食べる」「午前7時までに起きる」等、規則正しい生活に関して望ましい状況が見られます。特に、早起きに関する点については、全国との状況と比較しても、たいへん良好だと言えます。
- 「将来の夢や目標をもっている」児童・生徒の割合が、全国と比較して高くなっています。今の子どもたちには、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力が求められています。
- 「授業中に子どもが発表する機会があること」「授業中に友だちと話し合う活動があること」については、各学校において積極的に取組が進められており、そのように感じている児童・生徒の割合は全国と比較して高くなっています。
- 「本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館に週1回以上行く」子どもの割合は、全国と比較して高くなっています。
- ▲携帯電話やスマートフォンの所有率は全国と比較して低いものの、所有している小学生の10%、中学生の20%がその使い方について「家の人との約束を守っていない、または約束はない」と答えています。家庭と学校が連携し、携帯電話やスマートフォンを使用する上でのルールやマナーについて、正しい知識を伝えていくことが大切です。
- ▲「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」子どもの割合が、また「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」中学生の割合が全国を下回っています。自ら社会に関わろうとする態度を育成していくために、様々な問題や出来事に目を向けていくことが大切です。
- ▲「家で学校の授業の復習をしている」児童・生徒の割合は、全国を上回っているものの、「平日に家や学習塾で2時間以上勉強している」割合は、全国と比較して低くなっています。家庭学習のさらなる充実が望まれます。

山口市教育委員会は、今年度の成果と課題を踏まえ、日常的な学校訪問による各学校の実態に応じたきめ細かな指導助言と支援を継続することで、児童・生徒の学力の向上と望ましい学習習慣の定着を図って参ります。